

東京工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	国語総合IV	
科目基礎情報							
科目番号	0047			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電気工学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	『国語総合 古典編』（東京書籍）、配布プリント、樺島忠夫ほか『日本語チェック2000辞典』（京都書房）						
担当教員	青野 順也						
到達目標							
1.古文:主な古語の意味をふまえた上で、内容を理解し、味わうことができる。 2.漢文:句法と助字のはたらきを理解したうえで、大意を捉えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安 (可)		未到達レベルの目安
評価項目1	古語の意味をふまえた上で、現代語にすることができる。		古語の意味をふまえた上で、ほぼ現代語にすることができる。		古語の意味をふまえた上で、内容を理解することができる。		古語の意味をふまえることができず、内容を理解することができない。
評価項目2	句法と助字のはたらきを理解して、現代語にすることができる。		句法の意味を理解し、大意を捉えることができる。		句法の意味と助字のはたらきをほぼ理解し、大意をおよそつかむことができる。		句法も助字のはたらきも理解できず、大意を捉えることができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	前年度の「国語総合Ⅱ」を承けて、更に難易度の高い古典文学作品（古文・漢文）の読解と鑑賞とおこなう。古代人の自然観や人生観、さらには論理的な思考法に触れ、近代以降の諸文化を絶対的なものとして捉えるのではなく、対象化する視座を得てほしい。						
授業の進め方・方法	主として講義形式で進めていくが、折に触れてさまざまな課題に取り組んでもらうことになる。意欲的な参加を期待する。						
注意点	本文の内容とは別に小テスト(語彙テスト)を実施する。計画的に学習しておくこと。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス 古文・「古文に見える人生観・自然観」1		・ 授業の進め方と成績評価の方法について理解する。		
		2週	古文・「古文に見える人生観・自然観」2		・ 古典文学作品に見える人生観について説明できる。		
		3週	古文・「古文に見える人生観・自然観」3		・ 古典文学作品に見える人生観について説明できる。		
		4週	古文・「古文に見える人生観・自然観」4		・ 古典文学に見える自然観について説明できる。		
		5週	古文・「古文に見える人生観・自然観」5		・ 古典文学作品に見える自然観と人生観について、現代との共通点を説明できる。		
		6週	後期中間までのまとめ		・ ここまでの学習をふりかえり、理解が十分でない箇所を見いだして復習する。		
		7週	後期中間試験		・ ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。		
		8週	後期中間試験 返却・解説		・ 後期中間試験の結果を承け、学年末試験に向けての目標を確立する。		
	4thQ	9週	漢文訓読の復習1		・ 送りがな、返り点を的確に施すことができる。		
		10週	漢文訓読の復習2		・ 再読文字について、書き下し文と現代語訳とを作成できる。		
		11週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」1		・ 論理的かつ説得的な文章が有する論の組み立て方を理解する。		
		12週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」2		・ 論理的な文章の、思想的背景について理解する。		
		13週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」3		・ 論理的な文章の、思想的背景について理解する。		
		14週	漢文・「漢文に見える論理的な思考」4		・ 文章で取りあげられる事柄について、現代の視点からたとえ話をを用いて説明することができる。		
		15週	学年末試験		・ ここまでの学習をふまえ、設問に対して的確に答える。		
		16週	学年末試験 返却・解説		・ 学年末試験の結果を承け、理解が不十分であった箇所を整理し、今後の国語学習に備える。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度・取り組み	ポートフォリオ	小テスト	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
基礎的能力	80	0	0	0	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0